

岩手県金融経済概況（平成 29 年 1 月）

1. 概 況

県内経済は、緩やかな回復基調を続けている。

最終需要の動きをみると、個人消費は底堅く推移している。設備投資は増加している。公共投資、住宅投資は、高水準で推移している。

生産は、横這い圏内の動きとなっている。雇用・所得環境は、改善している。

消費者物価（除く生鮮食品）は、2 ヶ月連続で前年を下回った。

2. 最終需要

(1) 個人消費

個人消費は、底堅く推移している。

百貨店売上高（平成 29 年 1 月）は、店舗改装や 1 月中旬の寒波の影響等から 2 ヶ月連続で前年を下回った（前年比 $\Delta 7.9\%$ ）。

スーパー売上高（全店舗ベース；平成 28 年 12 月）は前年並みとなった（前年比 0.0% ）。

新車登録・届出台数（登録車+軽；平成 29 年 1 月）は、5 ヶ月連続で前年を上回った（前年比 $+6.2\%$ ）。

(2) 建設投資（公共投資、住宅投資、設備投資）

公共工事請負金額（平成 29 年 1 月）は、2 ヶ月連続で前年を上回った（前年比 $+11.1\%$ ）。

新設住宅着工戸数（平成 28 年 12 月）は 2 ヶ月連続で前年を下回った（前年比 $\Delta 6.6\%$ ）。

—— 持家が 4 ヶ月振りに前年を上回った（前年比 $+6.6\%$ ）ものの、貸家が 4 ヶ月振りに前年を下回り（同 $\Delta 13.2\%$ ）、分譲も 2 ヶ月振りに前年を下回った（同 $\Delta 43.2\%$ ）。

民間設備投資（短観ベース；平成 28 年度計画）は、全産業ベースで前年度を上回る計画となっている。

—— 平成 28 年度（計画）は、幅広い業種で新規出店等の能増投資、更新投資などが計画されており、全産業ベースで前年度を上回る（前年度比+9.4%）計画となっている。

県内の官民建設工事全体の出来高総計（平成 28 年 12 月）は、高水準ながら 14 ヶ月連続で前年を下回った（前年比△13.2%）。

3. 生産動向

生産は、横這い圏内の動きとなっている。

鉱工業生産指数（季節調整値；平成 28 年 11 月）は、3 ヶ月振りに前月を上回った（前月比+1.7%）。

—— 11 月の動向を主要業種別にみると、食料品、はん用機械、パルプ・紙・紙加工品が上昇し、化学、生産用機械、輸送機械が低下した。

なお、四半期の動きをみると、28/4～6 月に 5 四半期振りに前期比が増加に転じた（前期比+3.0%）ものの、7～9 月は再び減少（同△0.9%）となった。

4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、改善している。

有効求人倍率（季節調整値；平成 28 年 12 月）は、1.33 倍となった。

—— 平成 25 年 5 月以降 44 ヶ月連続で 1.00 倍以上を記録。

雇用保険被保険者数（民間企業中心の全数調査；平成 28 年 12 月）は、前年を上回った（前年比+0.4%；平成 24 年 3 月以降 58 ヶ月連続で増加）。

雇用者所得（県内合計値；平成 28 年 11 月）は、名目賃金指数が 4 ヶ月連続で前年比減少（前年比△1.1%）したものの、常用雇用指数が 7 ヶ月連続で前年を上回った（同+1.8%）ことから、4 ヶ月振りに前年を上回った（同+0.7%）。

5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品）（平成 28 年 12 月）は、2 ヶ月連続で前年を下回った（前年比△0.1%）。

6. 企業倒産

企業倒産（平成 29 年 1 月）は、5 件、33.5 億円（前年同月：2 件、0.6 億円）となった。

7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出（平成 28 年 12 月）は、預金は前年を上回った一方、貸出は前年を下回った。また、貸出約定平均金利は、引き続き低下地合いを辿っている。

以 上

本件に関する問い合わせ先：

日本銀行盛岡事務所 TEL：019-624-3622（代） <http://www3.boj.or.jp/morioka/>